

第14回～All for one

前回大会でもお知らせしましたが、ラグビーワールドカップ開催まであと1年半。スケジュールも決まって、日本代表の初戦は、2019年9月20日・東京スタジアムで、ヨーロッパ地区の予選を勝ち上がったチームとの対戦です。翌日には、ニュージーランド対南アフリカなんて優勝候補の直接対決のカードが発表されワクワクしています。今回のテーマも、ラグビー精神から「All for one」/バド愛の強い皆さんにも、2019年日本開催のワールドカップの応援、ご支援をお願いしたいと思い「One for all」に続く言葉を採用しました。



こんな、案内で募集した第14回。定員96名が埋まって120名に増員。いつも通りのドタバタもありましたが、当日は120名・フルハウス状態での開催となりました。大会を始めたきっかけは、どこの大会へ行っても負けて帰ってくるお代官様が楽しめて、参加の皆さんも楽しく羽根を打てて、これをきっかけに門真の練習会に参加者が増えて、当時開店ホヤホヤのガット張りの店・ネットインの売上アップにつながるもの、なんて欲張りな事言っていました。

スタート時は素人運営で、大会がどうなるかわからなかったのも、それを売りというか、テーマにして、個人賞もお相撲さんみたいに、殊勲賞・技能賞・敢闘賞をもじって、門真三大名所から、薫蓋賞・茨田堤賞・バツタリ賞。チーム編成はくじ引き、対戦は談合方式、おまけに、あしながおじさんの賞品協力で、大会に華を添えました。

今回、楽しい空間として、体育館の管理者からもお褒めの言葉をいただきましたし、自画自賛で申

し訳ありませんが、参加の皆さんの歓声と悲鳴、声援と笑いなどからお楽しみいただけたと思っています。



この大会をきっかけに練習会に定着した方も多数ですし、今回も練習に興味を持ってくださった方からの問い合わせもありました。ネットインも地域に密着し「ガット張りといえばこの店」と定着している中、スタートから現在に至るまでお付き合いいただいています。談合方式は、コンプライアンスの関係から排除して、現在の「お触書方式」に進化、チーム編成も主催者側(パソコンのソート機能を使用)で、個人賞も「スタッフTシャツ」3枚に定着しました。問題は、マンネリ化かも知れませんが、「今日のチーム編成は今日しかない」と思って、皆様のご支援のある限り、大阪のバイブル・吉本新喜劇の如く、このマンネリを続けて行きたいと思っています。



13回・14回と、2019年日本開催のワールドカップ支援をテーマとしました。オールブラックスのハカを舞ったり、ラグビーボールを触って貰い、横断幕を掲げたり、ラグビーグッズも配布してみました。今回、平昌オリンピックのマスタートでは、前髪を気にする姿がチャーミングな高木菜那さんが金メダルで、そだーねー日本のカーリング娘が銅メダルを受賞した翌朝だったこともあって、ラグビーを含む他のスポーツにも興味持っていただけたのでは、と勝手に思っています。お代官様夫婦も、ラグビーPRのご褒美として、W杯のジャパンパックという、日本が出場する4試合を観戦できる権利(チケット)を大会翌日に手にしましたので、もっともっとラグビーを支援し続けたいと思っています。



大盛況の第14回の優勝はモリマサ君キャプテンのチーム「アグリ」の手に、準優勝はキャプテンの名前が覚えられないのですが、チーム「河内音頭」という結果となりました。各チーム共に、勝っても負けても接戦、チームメイトとお友達になって、バド友の輪を広げて、教えてもらったり、教えたり、他人のワザを盗んだり、真似したり。しっかり汗を流して、楽しく羽根を打てる一日だったら大会は成功だと思っています。

また、大会運営に関しては、「我こそはスタッフ」と思う皆さんにお願いしました・・・と言うより、主催者が動かないので、設営からシャトル交換、順位決定集計から撤収に至るまで、参加の皆さんにお手伝いいただきました。スコアシート係のちゃと&少女たちもしっかりお役目を果たしてくれましたし・・・余は満足である。



また、次回があれば、皆さんと楽しい大会を作り上げましょう。競技は違えど目指すところ是一緒、これからもよろしくお願いいたします。

結びの言葉は、・・・One for all, All for one

平成30年2月28日記

Top
トップ
↑

Back
戻る

[第15回～Lovely\(台風21号で中止\)](#)